令和4年度

四国防災共同教育センター

運営・評価委員会

議事要旨

**日時**: 令和5年2月20日(月) 11:00 ～ 12:00

**場所**: Zoomによる遠隔会議

**進行**: 吉田 秀典 (四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構長)

# 出席者

香川大学：四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構　吉田機構長
四国防災共同教育センター　長谷川センター長

　　　　　四国防災共同教育センター　黒田副センター長

香川県：政策部　佐々木地域活力推進課長

徳島県：危機管理環境部　永戸危機管理政策課長

徳島大学：四国防災共同教育センター　上月副センター長（代理　蒋教授）

# 陪席者（事務局）

香川大学：危機管理先端教育研究センター　野本特命教授、近藤事務補佐員、政岡技術補佐員

徳島大学　徳島大学環境防災研究センター　湯浅講師

# 内容要旨

**開会挨拶**：長谷川四国防災共同教育センター長

　　　日頃から、四国防災共同教育センターの運営にご協力いただき感謝。「四国防災・危機管理プログラムの設置趣旨説明。

先日、四国官学連携防災・減災推進協議会で四国内市町村にアンケートを行ったところ、四国内市町村の75％が知らないとの回答を得たところ。これは逆に言うとまだまだ伸びしろがあるということ。今後、遠隔授業の利便性をアピールして広報活動を行っていく必要がある。

先日、南海トラフ地震の発生喝率の改定があったところ、その発生は迫っており、防災・危機管理分野の人材育成は急務である。

本日は「四国防災・危機管理プログラム」、令和4年度の成果報告と今後の事業計画をご審議いだきたいと考えているのでよろしくお願いしたい。

　**議題**

１．令和4年度四国防災・危機管理プログラム事業報告

２．四国防災・危機管理プログラム 第9期生修了判定及び資格授与

３．令和5年度四国防災・危機管理プログラム運営計画

# 議題１ 令和4年度 四国防災・危機管理プログラム 事業報告

**事務局より、議題1の「授業報告」「受講生アンケート」について説明を行った。**

【事業報告】

四国防災・危機管理プログラムは「リスクコミュニケーション」「危機管理学」「災害と健康管理メンタルヘルスケア」「防災・危機管理実習」「リスクマネジメント」「事業継続計画」「行政・企業・危機管理実務演習」の７科目を２年間で受講するプログラムとなっている。

今年度、前期の講義は、1年生に対して「リスクコミュニケーション」「危機管理学」、2年生に対して「事業継続計画」の講義を各16回zoomによる遠隔講義で実施した。

また、後期の講義は、1年生に対して「メンタルヘルスケア」、「リスクマネジメント」の講義を各16回Zoomによる遠隔講義＋対面講義（PFA研修）で実施した。さらに、11月5日と6日には香川大学と徳島大学で防災・危機管理実習を対面で実施した。また、2年生は香川大学と徳島大学に分かれて班又は個人で防災危機管理実務演習として各課題を研究し、各大学で発表会を実施した。また、3月13日には、第9期生の修了記念のシンポジウムで、各大学1課題の成果発表を予定。

【受講生アンケート】

受講生のアンケートから、全講義で高いスコアの好評価を得ている。ただし、講義でブレイクアウトルームによって実施している班別討議で時間配分や進行に対する難しさや発言などに対する意見があった。

また、11月に実施した「防災・危機管理実習」について受講生同士のコミュニケーションを円滑にするため前期にしてはどうかという意見があった。

　また、「メンタルヘルスケア」のアンケートのスコアが前年よりも低くなっているのは最終講義の討論会で発言しない受講生の出席点を付与しないとの発言に対して、不満を持った一般の受講生が極端に低い評価点を付けたためで、プログラム生だけの評価を計算すると前年度とほぼ変わらないスコアとなっている。

〇吉田機構長

　遠隔講義はグループワークなどで支障が出るのは仕方がない。アプリケーションが進化しており、メリットの方が大きいと思うのでツールとしてやめるわけにはいかないのこれからも改善を重ねてほしい。

**事務局より、議題1の「令和4年度　第1回四国防災共同教育センター企画委員会」議事要旨、「令和4年度　第2回四国防災共同教育センター企画委員会」議事要について、説明を行った。**

【第1回企画委員会議事要旨】

9月14日に開催した第１回の四国防災共同教育センター企画委員会では受講生へのアンケートについて議論した。「危機管理学」のカリキュラムに多様な脅威と連鎖・連動脅威への対応、限界量を超える需要に関する危機管理、施設の老朽化に関する危機管理、サイバー攻撃に対する危機管理、戦争・紛争・テロに関する危機管理を組み込むことを審議

【第2回企画委員会議事要旨】

2月16日に開催した第2回の四国防災共同教育センター企画委員会ではアンケートは、スコアで一喜一憂するものではなく、より良い講義行うためのものなので、今後の講義に活かせるようなアンケートになるよう、アンケートの内容について検討すること、また、今年度修了される受講生の修了案件についての確認を行った。さらに、受講生からも提案のあった「防災・危機管理実習」の1日を前期（5月20日）に行うことを審議。

**〇事務局（湯浅先生）**：11月に徳島大学で行う防災・危機管理実習は会場の都合で11月11日になる。

**〇吉田機構長**：これだけの振り返りを行っている講義は例を見ないものなのでこれからも続けてほしい。また、徳島大学が行われる「行政・企業・危機管理実務演習」に卒業生である「防災・危機対応マネージャー」に手伝っていただいていることはいい取り組みなので香川大学でも検討して欲しい。今の学生はSNSを使う人が多いので顔出しする場合は事前に告知をするとよい。

**〇事務局（野本）**：ブレイクアウトルームでの顔出しは活発な議論のためには必要なことなのでアバター活用などを駆使しより良いものとなるよう工夫したい。

**議題2 令和4年度 四国防災・危機管理プログラム修了判定及び資格授与**

事務局より、プログラム修了要件ならびに修了予定者、修了証書(案)、災害・危機対応マネージャー資格認定証について説明を行った。

別紙として、修了予定者21名の修了案件判定資料を閲覧した。運営評価委員が同成績を確認し、21名の修了が運営評価委員会で承認された。

# 議題3 令和5年度 四国防災・危機管理プログラム 運営計画

　事務局より、令和４年度四国防災・危機管理プログラムの運営スケジュール及び授業カリキュラムが提示された。またプログラムの広報活動、応募要領、応募見込みについて報告があった。

　前期講義は、4月10日よりスタートし、各科目例年通りの16回実施予定、前期講義修了後、９月中旬に第１回企画委員会を開催。

後期講義は１0月3日よりスタートし、各科目例年通りの16回実施予定、後期講義終了後、２月中旬に第２回企画委員会を開催し、２月下旬に運営・評価委員会を開催。

「防災・危機管理実習」は、５日20日に香川大学、11月11日に徳島大学にて実施予定。ＰＦＡ研修についても12月16日に香川大学で実施予定。

　広報活動は、ホームページにより募集の情報発信を行い、第9期生の修了式でもある人材養成シンポジウムを3月13日にYouTubeによるオンライン配信で行う予定。また、プログラムパンフレット、履修の手引をつながりのある所へ香川県内、徳島県内所に配布した。

　運営・評価委員会開催時点（２月２0日）で、来年度プログラムへの社会人応募状況は、香川大学6名、徳島大学3名となっている（人事の都合上受講申請が３月下旬となる行政機関の応募見込みを含む）。

本プログラムについて四国内の市町村の認知度が低いので積極的に広報活動を実施する。

**〇吉田機構長：**現段階でこの運営スケジュールで認めていただけるということで良いですか？

**〇質問・意見なし**

**〇長谷川センター長：**本日いただいた意見や修正内容については、事務局で責任を持って修正して進めていきます。来年度も引き続きご指導ご鞭撻をお願い致します。これで令和4年度四国防災共同教育センター運営・評価委員会を終了致します。

以上